

# 会議録

起案日：令和6年9月28日

下記のとおり会議録を作成しましたので報告します。

件名	令和6年度 第2回丹波市立文化ホール事業推進会議
日時	令和6年9月27日（金） 19:30 ～ 20:45
場所	春日住民センター 大会議室
出席者	[委員] 角 悟会長、荻野 直貴副会長、安達 三紀子委員、田邊 利典委員、 廣瀬 ゆかり委員、吉見 美佳委員、 (※欠席：中谷委員、梅谷委員、中出委員) [外部] 一般社団法人ネクストゼロ 代表理事 長井 誠 [事務局] 文化・スポーツ課長 木村 成志 文化・スポーツ課芸術文化係 係長 見田 晋介 同 主事 瀬頭 史勇
<p><b>【会議要録】</b></p> <p><b>1 開 会</b> 事務局</p> <p>・会議の成立 (事務局) 委員9名中6名の出席により、会議成立（1名会議途中より参加） （欠席委員については、事前連絡あり）</p> <p>・委員以外の出席 (事務局) 会長の求めにより、ホール運営業務の受託業者である、一般社団法人ネクストゼロの長井代表理事の出席について報告。</p> <p><b>2 あいさつ</b> 会長</p> <p><b>3 報告事項</b></p> <p>以下、議事進行を会長に依頼 —傍聴者の確認— (事務局) 一般傍聴者ならびに報道機関の申込みなし</p> <p>—会議の公開等の確認— (会長) 丹波市立文化ホール事業推進会議に関する運営要綱第2条より、会議の公開又は全部若しくは一部の非公開について諮る。本日の議事においては、個人情報に関するものはなく、丹波市情報公開条例に規定される不開示情報はないため、公開とする。</p> <p><b>【委員からの異論なし】</b></p> <p><b>①前回国議録の確認</b> (事務局) —資料により説明—</p> <p>委員からの指摘事項なし。各委員の氏名を伏せた上でHPへ掲載する。</p>	

## ②令和6年度事業進捗状況

(事務局)

—資料により説明—

前回会議からの変更点（赤字）を中心に説明。

委員からの意見等なし。

## ③ホール運営業務委託に関する進捗状況

(事務局)

—資料により説明—

(外部団体)

人材育成については、長期的な部分や短期的な部分で様々な展開をしていくことを考えている。若い世代への人材育成として、柏原高校ギター部を対象に支援する、また、良い環境で演奏をさせてあげたいという想いがあり、双方のニーズが合う形でPA講座を開催させていただくこととなっている。子どもたちは呑み込みが早く、演奏に繋がるように意識を持って取り組んでくれている。そういった点は非常に感心するとともに、今後はこういった子どもたちが丹波に残ったり、こういったジャンルで活躍してくれたら嬉しく思う。今後は3月の卒業ライブに向けて、もう少し深く取り組んでいきたいと考えている。

オペレーター育成講座では、受講された2名がオペレータークラブZERO-IVへ加入し、総勢45名の会員となっている。今後は、第16期生の講座を開催する予定にしている。

会員向けのビギナー研修やリーダー研修については、後期として社員を中心に実施するよう調整している。

(委員)

舞台を利用させていただく身としては、ネクストゼロの皆さんの技術を継承いただいていることに大変感謝している。

(委員)

舞台スタッフの取り組みを広報誌で取り上げたり、インスタグラムやYouTubeなどのSNSを利用したりすることで、スタッフの活動やイベントの周知にも繋がるのではないかと。舞台スタッフがかっこいい姿をPRすることで、毎回10人～20人くらいの募集があったら嬉しいと思う。市民が一緒になって育てているということ、市がPRしてバックアップするようなことができればよいかなと思うので、そういったことも考えていただければと思う。

(委員)

受け身ではなく自主的にできることはないかと考えていく中で、舞台スタッフ募集というのは非常に良い取り組みだと思う。

(委員)

舞台スタッフとして演者の気持ちに寄り添って、舞台を支えることが役割だと思っているため、表舞台に出ることはなかなかないが、委員が仰られたように、舞台スタッフが取り組んでいる様子を広報を活用してPRすることもよいのかなと感じる。今後、若い世代のスタッフの中でSNSに長けた人材も出てくるかと思うので、そういった方法も活かしながら活動をしていけたらと思う。

(委員)

丹波市も丹波篠山市も立派なホールに恵まれてありがたいし、子どもたちは幸せなことだと思う。舞台に立つ機会があるということは非常に良いことだと感じる。田舎でもプロの道に進む方も多く、とても良い機会を与えていただいていると思う。大事なことは継続していくことだと思う。

## 4 協議事項

### ①令和7年度事業計画（案）

（事務局）

—資料により説明—

（委員）

来年、柏原高校30周年の同窓会を実施するにあたり、同級生で多川響子さんと足立知謙さんと南麻紀さんがおられるので何かできないかと声をかけたりしている。一つのアイデアとして、これだけ音楽で名を馳せている方が揃うことはなかなかないことなので、市から声をかけてみるのもよいかと思う。ピアノという共通があるため、ソロやコラボ演奏なども交えてできたら、同級生も集まったりして盛況になるのではないかなと思う。お芝居という部分では、丹波篠山市が非常にセンスが良いかなと思う。入場料8,000円という高い公演もあるが、出演者を見ると、それでも行きたいと思えるような公演になっている。さじ加減が難しいが、丹波篠山市はどういった打合せをされて、決定しているのか気になる。音楽が主になっているので、お芝居やミュージカルをいれていただけたらと思う。

（委員）

丹波篠山市でジブリコンサートをされていたときは凄いなと思った。なかなか観ることができない公演を呼んでいただけると、嬉しいと思う。

（委員）

丹波市ではブラックボトムブラスバンドとの繋がりがあって、公演を継続できているが、丹波市を好きになってもらって繋がりを持てるものができればよいと思う。H ZETTRIOもそう。

（外部団体）

H ZETTRIOは公演料がだんだん高くなっている。また、大きな催物を実施しようとする、会館が小さいということもあり限界がある。現時点では、収入が全て市に入るという委託内容となっているが、今後、収入を次の公演に回せるような運営になれば、もう少し考えられる幅が広がる。丹波篠山の田園交響ホールは800席で、採算は取れないが大赤字にはならないというレベルで、舞台も広いため大きい公演（作品）もできる。

多川眞一さんと来年度の企画の話をしている。日にちについても具体的な話を進めており、市とも協議を進めている。来年、開館30周年、法人設立1周年という節目の年となるため、そういった公演を実施できればと考えている。

（委員）

ブラックボトムブラスバンドが吉見小学校で公演をされたと聞いたが、子どもたちがすごく喜んでいて。例年、ライブピアいちじま大ホールの舞台でされているが、小学校の体育館で演奏しているのを観た子どもたちがかっこよかったと言っていた。非常に良い取り組みだと思う。

（委員）

ベルディーホールでは、ホール運営委員会というものがあるが、公演等を検討されている。その運営委員会が色々な方との繋がりがあると聞いている。

（委員）

これまでもライブピアで色々な公演を観させていただいた。澤田知可子さんが中丹文化会館で公演をされていたが、ライブピアに来られた時にサインをいただいたり、ウィーン少年合唱団がライブピアに来られた時も聴かせていただいたが、こんなこともできるのかと関心したり、三味線の吉田兄弟が来られた時も凄く感動した。やはり楽器には迫力があって、良いなと思った。

毎年12月に丹波篠山でされている誓文払いでは、演歌歌手が出られて盛り上がっている印象を持った。20代～30代を対象に考えると、バンドフェスタをされているので、バンド系を呼ぶのもありかなと。迫力のあるものを観れたら良いなと思う。

盲目のピアニストの演奏を聴くと、心を打たれることもあるのでそういった方も良いのかなと思う。

## ②ライフピアいちじま大規模改修工事に伴う大ホールの休館について

(事務局)

—資料により説明—

(委員)

全館休館になるのか。

(事務局)

令和8年4月～6月の期間について、大ホールは休館となるが、住民センター施設はどうなるか分からない。

(委員)

以前も申し上げたが、基本的には業者任せということを知っているから仕方ないと思うが、これだけ音楽を実施している会場なので、天井、床、イスを変えると少なからず影響はあると思う。同じ材質、形状を用いられると思うが、影響がないとは考えにくい。現状においても響きが良いとは言えないが、そういった部分は考えてもらいたい。

ホールの客席数や採算については考える必要はあるが、丹波市であれば700席程度で交通の利便性が良い場所にホールがあると、チケットも良く売れて、そういった課題も考えなくてもよくなるのではないかと。調べてみると、公共の文化ホールは45年程度で閉館されるというのを見ると、後15年～20年程度となる。次のホールということもそろそろ考えるべきではないかと思う。どれくらい延命するということを考えているのか、現時点での考えを知りたい。

(事務局)

今回の改修工事を経て、耐用年数が来るまでは残していく方向となり、その後については今後検討していくことになると思う。基本的には芸術文化活動の中心は市島になっていくのではないかと。

(委員)

交通の利便性という部分でも、高齢化社会で車を手放したときに、電車とバスで行くことができる環境にないと、と思う。丹波市は広いのでなかなか難しいが、交通のことを考えると、公演の時には市島駅までバスを出すなどの対応を考えてほしい。今後、人口も減っていく中で難しいとは思いますが、そういった部分も考えていただきたい。

(委員)

ライフピアいちじま大ホールの耐用年数が経過した時には、新たに場所を検討するという案が出ていたように思うが、どうか。

(事務局)

現状、施設の配置計画については、丹波市のメインのホールとしてライフピアいちじま大ホールの整備をしていくという方向性になっている。施設の長寿命化として25年周期で改修工事を行い、長期的に施設を使用していく、維持していくということが計画になっている。

春日文化ホールにおいても、やまなみホールが用途変更したときと同様に、今後のあり方を検討していく必要があると考えている。

## 5 その他

### ①委員の改選について

### ②次回開催予定

(事務局)

—資料により説明—

(委員)

ユーチューブやインスタグラムの活用について、地元にもインフルエンサーがいたりだとか、そういったことに長けている方もおられるので、協力いただくことも一つの手かなと思う。今の時代ではユーチューブやインスタグラムを利用して、集客に繋げることが主流になっているのかなと思う。紙媒体よりも、より遠くの方へ情報が届くと思うので、ぜひ検討いただきたい。

神戸市では、自主コンサートを実施する際に支援する補助金制度がある。そういったものの創設を検討していただけたらと思う。神戸市には音楽に対して気軽な補助金制度がたくさんある。「音楽のまち 丹波市」を目指しているので、色々な場所で音楽が響いている、それを聴きに行く人がいる、という環境を創っていただけたらと思う。

(委員)

小学校の連合音楽会がコロナの影響で実施してこれなかったが、昨年から再開しており、「丹波市の歌」を全員で歌っている。「丹波市の歌」は非常によいなと思っている。

(委員)

はじめの一步講座でピアノを取り上げていただいて、とてもありがたかった。参加された方はすごく楽しかったと言っていた。

「丹波市の歌」の取り組みは、聞いていて非常によいなと思った。

## 7 閉 会 副会長

平成 30 年度より委員をさせていただき、長きにわたりホール運営の会議に携わってきた。その間、色々な意見を頂戴し、その意見をオペレータークラブ ZERO-IVの中で共有してきた。直近の3年間はホール運営委託に向けた会議があり、きっちりと整理した上で次にバトンタッチしたいと考えていたため、このタイミングでの退任となった。

今後は、ネクストゼロの理事として、オペレータークラブ ZERO-IVのスタッフとして、委員の皆さまの意見をいただき、「丹波市ならでは」、「丹波市文化芸術推進基本計画」に沿って活動していきたいと考えている。

これをもちまして、令和6年度第2回丹波市立文化ホール事業推進会議を閉会します。